

環境負荷低減に係る実施確認書

記載例

氏名 静岡 太郎

1. あなたの農業における経営作目(複数ある場合はすべて作目)にチェック ☒ してください。

- ☐ 茶 ☐ 果樹(露地) ☐ 果樹(施設) ☒ 野菜(露地) ☐ 野菜(施設:土耕栽培) ☒ 野菜(施設:養液栽培)
☐ 花き(施設:土耕栽培) ☐ 花き(施設:養液栽培) ☐ 水稻 ☐ わさび ☐ 畜産 ☐ その他()

2. 経営する作目の環境負荷低減への取組について、「令和5年度の申請時」にてチェックした項目及び「令和7年度末までに実施した取組」で該当するものにチェック ☒ してください。

☐ 私は、現在有機JAS認証又はみどり認定又はエコファーマー認定を受けています。

※申請日現在、上記に☒がついた方は、以下の確認表へのチェックは不要です。

種別	取組項目	取組内容	補足説明	令和5年度 申請時の取組	令和7年度末まで に実施した項目
農産	基本管理	土壌診断に基づく施肥	土壌中の養分状態を把握した施肥	☒	☒
		生育診断に基づく施肥	作物の生育状況を把握した施肥	☐	☐
	土づくり	堆肥等有機質資材の施用	畜産堆肥、剪定枝、山草などの活用	☐	☐
		緑肥作物の利用	栽培した緑肥作物の農地へのすき込み	☐	☐
	化学肥料低減	局所施肥の実施	根周辺など一部に集中した施肥	☐	☐
		肥効調節型肥料施用	肥効期間が長い緩効性肥料の活用	☐	☐
		有機質肥料の施用	有機質を原料とする肥料の活用	☐	☐
		施肥量・肥料銘柄の改善	これまでの施肥設計・体系の見直し	☐	☐
	化学農薬低減	生物農薬の利用	天敵となる昆虫・細菌などの活用	☒	☒
		フェロモン剤の利用	昆虫の誘引・攪乱作用を有する資材の活用	☐	☐
		被覆栽培の実施	土壌表面を覆うマルチ資材の活用	☐	☐
		機械除草の実施	草刈機などの機械的な駆除	☐	☐
		抵抗性品種・台木の利用	病害に強い品種・台木への切り替え	☐	☐
		熱利用土壌消毒の実施	熱を加えて土壌中の有害動植物を駆除	☐	☐
	温室効果ガス (GHG)の排出削減	燃油使用量の低減	ヒートポンプなど省エネ機器の利用など	☐	☐
		中干し期間の延長(水田)	一週間程度の中干し期間の延長	☐	☐
畜産	GHG発生抑制飼料の利用	GHG発生抑制飼料の利用	脂肪酸カルシウム飼料などの給与	☐	☐
	輸入飼料の低減	食品残渣の利用	未利用資材などの活用	☐	☐
		飼料設計の改善	これまでの飼料設計の見直し	☐	☐
	畜産環境整備	高品質堆肥の製造	完熟堆肥、堆肥のペレット化など	☐	☐
		畜産排水の適正処理	液肥化・浄化・メタン発酵処理など	☐	☐
	適正な飼養管理	飼養衛生管理の向上	ストレス・事故率の低減、暑熱対策、ICT機器の活用など	☐	☐
		その他()		☐	☐

☆令和5年度に申請した方は、「令和5年度申請時の取組」と「令和7年度末までに実施した取組」両方に1つ以上チェック

★新規の方は、「令和7年度末までに実施した取組」を1つ以上チェックしてください。